



Vol.15

令和7年10月
発行
いそべとしえ事務所

山口県議会議員 いそべとしえ 県政レポート

吹く風に金木犀の香りを感じる今日この頃、みなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。今年には異常な暑さが長く続き、体調管理が大変な毎日でしたが、ミネラル分を多く含む塩をとっているせいか、元気に乗り越えることができました。9月に開催された議会も10月6日に無事に終了し、いち早く県政レポートをお届けするため、スタッフ一同頑張っていました。特にみなさまからの貴重なご意見等を反映できるよう、わかりやすい紙面作りに努力してまいりました。これからも遠慮なくお声掛けいただきますよう、よろしくお願いいたします。朝夕は冷え込む日が増えてまいります。風邪などひかれないうちにお体には十分お気をつけください。

《令和7年度9月補正予算についてのご報告》～主な補正項目～

01 令和7年8月大雨災害対策関連事業

39億7200万円

大雨災害対策について、被害状況に基づき、公共土木施設等の早期復旧を図るため、災害復旧事業18億2,000万円を追加するとともに、災害関連事業として、砂防事業や河川改修事業等を実施することとし、15億2,200万円を追加計上しています。被災者支援については、災害救助法に基づく被災者の応援救助を行うとともに、県単独の措置として、住家の全壊・半壊世帯等に災害見舞金を支給するほか、災害援護資金、生活福祉資金等の無利子貸付を行うこととし、総額で1億1,600万円を計上しています。このほか、道路、河川に流出した土砂や倒木の除去等を実施することとし、それぞれ所要の経費を計上しています。

02 やまぐち地酒緊急支援事業

1億2100万円

米価高騰に伴って酒米価格の急上昇が見込まれる中、県産酒米の取引維持と県産日本酒の安定供給を図るため、県内酒蔵に対して、県産酒米の価格高騰分への補助を行います。

03 訪問介護等サービス提供体制確保支援事業

5700万円

人手不足等が喫緊の課題となっている訪問介護サービスの提供体制を維持するため、新たに人材確保や経営改善に取り組む事業者を支援します。

04 美祢線代替交通構築事業

1200万円

今も運休が続くJR美祢線のBRTによる早期復旧に向けて、法定協議会の設置と、広域的な地域公共交通の基本方針等を定める地域公共交通計画の策定に要する経費を計上しています。

脱炭素社会における産業競争力強化特別委員会（副委員長に就任）

気候変動問題の解決に取り組むため、国の方向性が新たに示された。GX戦略地域を設定し、特区制度等を活用した規制改革を一体で進める。山口県経済の発展のため、地域選定を目指し、具体的な準備を進めていく。※GXとは⇒温室効果ガスを発生させる化石燃料から、太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を改革しようとする取組を目指す。



磯部登志恵が気になった一般質問をピックアップします

01 学校体育館の空調設備設置促進へ

県内の公立小中学校の体育館・武道場
(文部科学省によると)

空調設備の設置率 **9.8%**
(ことし5月1日時点)

→全国平均 22.7%の半分以下

近年、厳しい暑さが続くなか、県教育委員会の教育長は24日の県議会で、良好な学習環境を確保することなどを目的に、公立の小中学校の体育館に空調設備を設置するための取り組みを進める考えを示しました。文部科学省によりますと、県内の公立の小中学校では、ことし5月1日時点で、体育館と武道場あわせて420棟のうち、空調設備が設置されているのは9.8%にあたる41棟にとどまり、全国平均の22.7%の半分以下となっています。県教育委員会の教育長は、「良好な学習環境を確保するうえで、計画的に空調を整備することは重要だ。学校体育館については、災害時における避難所機能の強化の観点からも空調整備が求められている」と述べました。そのうえで、「県教委として、体育館を含めた学校施設の空調設備の整備促進に向け、その役割をしっかりと果たしていく」と述べ、国に対し、空調設備の整備に関する交付金の増額などを求めるとともに、市や町には整備に向けた情報提供や助言を行っていく考えを示しました。

02 熊の出没に備えた対策を強化中



近年、熊の出没件数が増加しており、生活に不安が広がっています。こうした状況を受け、県では熊対策の一環として、有害鳥獣駆除に従事する人材確保と育成を強化しています。令和7年度には、猟銃免許の合格者が前年に比べ約1.6倍に増加しました。これは、県が行った講習会の開催や情報提供による支援策など、様々な取り組みの成果によるものです。今後も地域と連携しながら、専門人材の育成や捕獲体制の整備を進め、みなさまの安全確保に取り組んでいきます。

03 広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業

《下松市・光市・周南市での連携》

各自治体が所有する市民通報アプリ等のデータ連携や、インフラ情報を一元化したシステムの構築により、維持管理業務の高度化・効率化を図り、県と3市の連携による事務の共同処理や包括委託等に向けた検討を行う。他の市町の参考となるよう期待したい。



県立周防大島高校について

令和8年4月の山口県立大学附属周防大島高等学校開校に向けた徴収額を規定。

(※附属高校の授業料等の徴収額は、公立高校と同額予定)

山口県立周防大島高等学校は、普通科と地域創生科の2学科に全部で5つの特徴的なコースがあり、多様な進路希望に対応。また、豊かな自然に囲まれた周防大島や周防大島高校の魅力発信する取組や、地域の方々と連携した教育活動を進め、県外からも募集を行う。なお、県外から入学させることができる人数は、原則として両学科とも入学定員(90人)の30%以内。

授業料	普通科	1年 130,000円(上限)
	看護福祉特別科	1年 135,000円(上限)
入学試験料	1件	2,400円
入学料	1件	6,200円

県立高校再編整備計画について

- 1 後期実施計画期間を2年延長し(令和9年~15年)教育の質や生徒数の確保を目的に、対象校23校の再編整備(統合・学科改編・生徒募集停止)を進める。
- 2 統合する2校の敷地・教室数・交通の利便性など検討し、特色ある教育内容、部活動でも可能な限り継続していけるよう協議していく。
- 3 進路選択に影響があるため、小中学生やその保護者、地域の方への説明会を県内15会場で行う。
- 4 統合後の跡地利用については、地元市町の意見を確認後、効果的な利活用となるよう取組む。

自転車を利用される皆さんへ 令和8年 4月1日から

自転車の違反に「青切符」が導入されます!

自転車の交通違反に対し、自動車などと同様に反則金を納めるよう通告する、「交通反則通告制度」いわゆる「青切符」が適用されます。

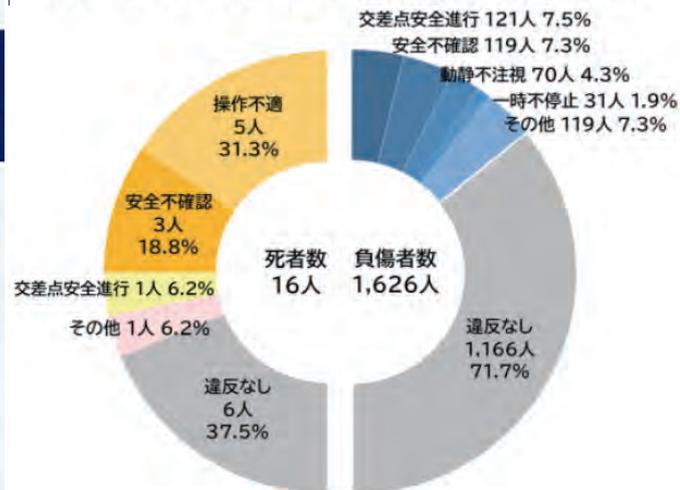
対象となる行為は100種類以上

対象となる年齢は16歳以上

反則金額は原付バイクと同等

信号無視 6,000円	指定場所一時不停止 5,000円	ながらスマホ 12,000円
車道の右側通行 6,000円	並進 3,000円	酒酔い運転などの悪質な違反については、従来通り、刑事処分対象となり、「赤切符」等で処理されます。

自転車の交通事故 原因別 (R2~R6)【県内】



自転車側の交通違反が重大な事故に繋がる場合も!

全国的に、交通事故の発生件数は年々減少している中、自転車による交通事故が占める割合は増加傾向にあります。さらに、重大(死亡・重傷)事故の約7割が自転車側に何らかの違反行為が確認されています。県内でも、死者の約6割、負傷者の約3割に安全不確認等自転車側の違反行為がみられます。自転車利用時は交通ルールを守り、安全運転をお願いします。

前回発行の県政レポート Vol. 14 の中で「周南運転免許センターの開設」をご案内しましたが、『今まで通り、光警察署では手続きできないの？』とのご質問がありました。そこで再度、免許更新手続きについて追記いたします。

施設	① 受付時間	② 免許証交付
総合交通センター	① 受付時間定められています (令和8年4月～予約制導入)	② 即日交付
周南運転免許センター	① 予約制 (インターネットによる前日16時までの予約が必要)	② 即日交付
光警察署	① 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 (振替休日、祝日、年末年始の休日を除く)	② 約3週間後に交付

*マイナ免許証を所持されている方は、警察署では手続きできません。

受付時間・曜日などセンターや警察署で各々定められています。

この掲載は抜粋となりますので、ご不明な点や詳細は、山口県警察のホームページを確認いただくか、山口県総合交通センター(☎083-973-2900)へ連絡してください。(自動応答サービス)

市民の声

道路のトラブル、、どこに連絡すればいい？

猛暑や豪雨などの気候変動により道路のトラブルも増えている今、「道路が陥没しちよるんじゃけど、、、」「支障木があつて危険」などいそべとしえ事務所にもこのようなご相談が増えております。

まずは市民の皆様がどのような対応が可能か一覧にまとめましたのでご覧ください。



光市の場合

HP→LINE 友達→写真撮影し通報可能



山口県の場合

国土交通省のLINE 通報アプリ

又は #9910 (24時間受付・無料)



国道などの草の管理等について 国土交通省中国整備局より回答

①植樹帯の管理は、年一回の作業で行っているが、景観上問題あることを指摘

→当面次年度からは、低めのカットとし、管理が不十分な場合、適宜対応する。

②光市内国道188線の信号機下の標について、文字が消えた場所や同じ標が設置されている箇所について指摘

→来訪者などにわかりやすく、重複したものは一つ撤去、文字が消えた標は上からシールを貼っていく。

③県道に関しても、街路樹等が車や歩行者の通行に支障となっている現状を指摘。

今後、街路樹等の伐採も含めて、歩道を広く整備していくことが安全対策に繋がることを指摘。

→街路樹等の撤去には大きな予算が伴うため、順次方向性を検討していく。

県議会の自民党会派に入って約一年が経過しました。

研修や視察などはもちろんですが、様々な経験ができることは、私にとって大きな力となっています。

その経験を生かし、時代に合った改革も私に課せられた取り組みと感じています。

常にみなさまの声を大切に、猪突猛進突き進んでまいります。しなやかに～